

【プラスに気づく】・・・鈴木

お陰様で、私の記事が今月号でついに10年目に突入しました！早いもので9年前（この年3月に東日本大震災がありました）、石川所長とのご縁で石川税務会計事務所にお世話になり、あっという間に今回で109回目の投稿となりました。今まで、とりとめの無い記事、どうでもよい身内の記事、野球に興味のない方にとっては全くつまらない記事等…数多く投稿してしまいましたが、これからも読者の皆様方には、私の愚作にどうぞ懲りずにお付き合いくださいませ。

さて今回は、プラスについて書きたいと思います。ご承知の通り（別紙でも紹介記事があります）今月1日より、税理士法人アミック&パートナーズとして船出となりました。税理士事務所の仲間、そして関与先様にプラスになるとお思いますので宜しくお願い致します。また、当事務所（やよい事務所）にもプラス2名仲間が増えましたので併せて宜しくお願い致します。9月はプラス、プラスの月となりました。

プラス思考という言葉がありますが、プラス思考とはどんなことを言うのでしょうか。良くプラス思考で物事を思い込めと言われますが、本来のプラス思考とは「そうとしか思えない現実に気づくこと」なのだそうです。プラスに思い込むのではなく、そもそもすべてがプラスでしかないというのです。プラス思考に思い込むのではなく、プラスとしか考えられない現実に「気づくこと」なのです。つまりは「プラス思考になる＝気づくこと」と言うのだそうです。時にはマイナスでネガティブな妄想をわざわざ自分で作り出し、それこそが現実だと思い込んでしまうことがあります。プラス思考になるとは、本来の現実、プラスとしか考えようのないことばかりという事実、気づくだけでいいのです。これからも、日々の生活で、改めてプラスな現実に気づきたいと思っています。

では、今月1日よりプラスな事務所として今まで以上に頑張りますので、どうぞ今後とも宜しくお願い致します。そしてまだまだ収束しない大変な時期が続きますがどうぞ心折れずプラス行きましょ…！



【今年の秋】・・・小倉

初秋の季節とはいえ、暑い日が続いております。これからの時期、突然の雷雨や台風も心配であります。

所長の挨拶でもありましたように、今月から当事務所は、新たな運びとなり、また、私自身も入社して、丸一年が経ちました。

社内でも新風を吹かせ、より一層精進して参りますので、よろしくお申し上げます。

今年は、自粛モードの中、せめて季節感を心がけて、食欲の秋という訳ではないのですが、食事量も量より質を求め、知人が作った酒粕からでなく麴から作る甘酒に凝っています。それまでは、あまり飲む機会が無かったのですが、とても飲みやすく、飲む点滴なんて言われ、身体にも良いと知ったら尚更はまってしまい、飲みすぎない程度で作ってもらっています。ただ麴を買いに行き、8時間保温させるだけなのですが・・・。



今月、私も知人の所で、チーズ作り挑戦する予定です。今までに味噌作りは何度か作ってきました。今年のマイブームは気づいたら発酵かもしれません。

身体に良いものを心がけたいです。そして、次の課題としまして楽しく身体を動かす事なのですが、最近、車の移動に頼り、まったく怠ってしまってます。運動の秋にもしないといけないですね、思った時に行動したいと思います。

映画のご案内

「時の行路」

日時 2020年10月10日(土)・11日(日)

① 10:30 ②14:00 ③17:00

場所：とちぎ福祉プラザ（宇都宮）

前売券：1,200円（大人のみ）

当日券：1,500円(大人)、1,000円（高校生以下）

お声掛けください。※当事務所に前売券あります

【日々新たに】・・・手塚

9月より株式会社サン財経研究室は新たに税理士法人アミック&パートナーズやよい事務所になりました。私自身もこの機会に改めて日々新たに自分に関わらせていただきます。

毎朝顔を洗うがごとく、心も毎日新しくならなければいけない。毎日新しい心で、ということは何にも一物も持たない心で新しい世界に触れていくなれば、この世界は新しい。毎日、朝顔のつるが伸びている。昨日咲いた花は今日は咲かない。水の流れは毎日違っている。自然の世界は毎日新しい。

人間の心だけが古いところにこだわっている。それが病気であります。自然だけじゃない、われわれの体でも新陳代謝して、昨日の細胞と今日の細胞とは違うのです。すべてが新しくなっていくのだから、心も新しくして、昨日のことは忘れて、嫌なことは忘れて、腹の立ったとは忘れて、嬉しかったこともすべて忘れて、新しい心で今日を迎えていくということが、自らを成長させる道と信じるものであります。それが本当の人間の生き方であり、正しい生き方ではないかと自分自身に問いかける。

新しいという新は真実の真だ。自然が新しくなっていくごとく、心も毎日毎日新しい心になって、古いことはさっさと忘れていく。忘れるとって忘れることはできないけれども、それは写真を見るがごとくに思い出したらいい。写真は古いことの思い出であります、ああいうこともあったなあという思い出だ。

会社に入社した新人時はこうだったなあ、あの時はこうだったなあと思ひ出して写真をご覧になる。仕事で失敗した時も、口惜しい思いをした時も、あああの時は俺も若くて未熟だったなあ、と言うんならよろしい。その時、必要以上に注意をされ怒鳴られて腹を立てた時の感情をここでまた再燃して、「あいつは憎い上司だったじゃ」、これでは困ります。記憶を捨てるわけにはいきませんが、それは過去のこととして眺める心のゆとりが出てこないといけません。

古いものをさっさと捨てていける心の切り替えのできる稽古をする。今腹を立てたけれどもすぐ横を向いて笑っておれる。日々新たにこういう切り替えができる人になりたいものです。

